

## 東浦教育委員会との話し合い

於 東浦町役場

### 1. 勤務時間について

知労：超過勤務を出さないように管理職を指導してほしい。

東委：P.Cのネットワーク化等、少しずつ事務量を減らす努力をしている。

知労：勤務の割り振り変更を適切に行い、記録簿をきちんと整備するよう管理職を指導してほしい。

東委：学校経営会議で記録簿をきちんと書くように話をしていく

知労：超過勤務が80時間を超えるのは異常だ。何かを減らすしかない、中学校の職場体験学習はとても大変で時間がかかる。他にも方法がある。

東委：職場体験は、子どもにとって将来につなげる有意義なもの、新たな発見の活動の積み重ねが大事だ。

### 2. 労働安全衛生法の適用について

知労：昨年度から進んだ取組はありますか。

東委：産業医による巡回が年4回の1回の巡視に2校から年4回の1回につき1校と面接指導を受け入れている。調査をして希望があれば面接をしている。100時間越えの職員を確認するよう伝えてある。

### 3. 部活動の見直しについて

知労：多忙の原因は何か。

東委：生徒との面談、部活、〇〇教育が入ってくる。精査すべきところだと考えている。

知労：超過労働の原因は部活動にあると考えるが。

東委：部活は、土・日のどちらか基本的に1日にしてくださいとお願いしている。月曜日は会議のため休みにしている。活動時間を守るように話している。大きな大会への出場になると活動時間が増えていることは確かである。各種の大会は、顧問の同意を得ながら精査したい。

知労：部活を学校から完全に切り離すべきだ。部活は本務ではない、学校外でやってほしい。委託事業にしてほしい。

知労：生徒は全員部活か。

東委：学校外でもやっている生徒もいる。どこかで全員が活動していることになる。

知労：文科省は「部活は任意である、自主的な活動」と言っている。希望制であってよいのでは。部活をやりたくない自由もあってよいのでは。

知労：教員も全員部活の顧問なのか。

東委：どの学校も全員部活の顧問である。

知労：教員も自由であってよいのでは。部活動は本務でないのに全員顧問になるのは、いかがなものか。顧問がいない部活については、町が学校外から指導員を招致するとか考えてほしい。教員に強制しないしてほしい。少しずつ変えられないか。

東委：スポーツ指導者講習会を年に6回開催し、外部指導者を約35人～40人位の地域の人が各校へ指導に入っている。登録制で50人位登録されている。技術指導してもらって顧問の負担を減らす努力はしている。地域に土・日だけのクラブもあり学校の部活と切り離しているところもある。それでも、100時間越えがあることを考えていかなければと思っている。

知労：顧問と外部指導者との指導上の共通理解ができていいのか。

東委：上手くいかないこともある。外部講師のペースにならないようにしたい。管理職に相談しながら摩擦が起きないように顧問と外部指導者が仲良くやってほしいと思っている。

東委：子どもの中には、いやいや部活動をやっている子もいるので配慮も必要と考えている。個に応じた指導

が必要である。

知労：教師の希望制にし、指導者のいないところは、外部指導者にお願いしていく。幸いスポーツ講習会がありその場で学校教育の一環としての部活動への規制をかけていけばよい。教師が無理して顧問になる必要はなくなると思う。

東委：体罰のあったとき、指導の在り方を講習会で話したことがある。

知労：子どもがどこかの部活に入れというのはおかしい。文科省も自由と言っている。部活動の多様性を考えて希望制にしてはどうか。

東委：部活動はある意味で問題行動の子どもを出さない抑止力になっている。

知労：問題を起こす子は、部活に入っているのははじける。部活に入っていないから問題行動を起こすとは限らない。

知労：豊明市では朝部は中止の方針を出した。町も思い切ってやるべきだ。小牧市もない。

#### 4. 教職員会等の出張を伴う副教材について。

知労：公費と私費の教材はどんなものがあるか。

東委：公費：小学校・知多の友、夏休みの友、観察と実験、かがやく大愛知、  
中学校・知多の友、観察と実験、若あゆ日記

私費：中学校・リーブ

知労：副教材がすべて使い易いものではない。読まないところや使わないページがある。市販の教材で十分である。執筆のために学校を空けることもあり大変である。買わなくてもよい自由があつてよい。要らないものを減らすという強い決断をお願いしたい。

#### 5. 学校訪問について

知労：学校訪問が管理的なものになっていて授業の準備、環境づくりなど1か月以上も前から取り組んでいる簡素化の検討をしてほしい。

東委：現職で取り組まれていて、簡素化した指導案も見られるようになってきた。その中の一つに特設授業案もなつてきている。また、若い先生が増えてきたので、どこかで指導案の書き方の確認も必要になってきている。若い人に教えてあげるいい機会と思う。他校の先生が学校訪問時に参観してもらっている。負担は軽減していく必要があると思う。

知労：特設をやめるとか、全員が簡素化した指導案にするとか方法はあると思う。

東委：若い人には、密案まで考えてほしいと思っているが、加重な負担にならないようにしたい。

知労：あまり飾らないようにしてほしい。名古屋市は半日日程で各教室を回る程度である。

#### 6. 全国学力・状況調査について

知労：全国で公表するところがあるが東浦町はしないようにお願いします。

東委：公表は控えたい。学校間の競争は避けたい。

#### 7. その他

知労：何を削っていくか根本的に考えてほしい。

知労：小学校の部活の現状は

東委：サッカー・バスケット・卓球・陸上・金管はすべての小学校にある。強制ではない。児童全員が参加ではない。教師は全員参加である。

知労：小学校の部活はなくてもよい。部活のない地域もある。スポーツクラブを生涯教育として町でやってもらいたい。何でも学校でやることはない。

知労：長時間ありがとうございました。